



H18.12.15 1222
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 本会第7回理事会を開催 県下漁協系統の組織再編に関する

合併推進本部及び合併推進プロジェクトチームの設置を承認

本会では12月8日、第7回理事会を開催し、県信漁連の経営改善対策に対する本会の支援に関する事項と、県下漁協系統の組織再編に関する事項について審議を行い、いずれの議案も原案どおり承認を得ました。

その中で県下漁協系統の組織再編については、先般開催された組合長会議において、県下漁協が一丸となって自らの漁協合併を積極的に推進し、伊豆、沼津、駿河湾、西部の4地区合併構想を平成19年3月までに夫々の漁協が承認し、平成20年3月末までの合併実現に向けて取り組むことが決議されたことを受け、当面の対応として合併推進本部及び合併推進プロジェクトチームを、本会を中心に県、信漁連及び信用基金協会と連携し常時8人体制を組織した中で、積極的に各地区運営委員会及び漁協理事会、漁協の地区懇談会等に参加し、合併を推進していくこととしました。

なお、合併推進本部(仮称)は静岡中央ビル(県水産会館)5階(現第4会議室)に専用事務所<直通電話054-275-2325>を設置し、12月18日よりスタートできるよう準備が進められています。

2. 平成18年度養鰻研修会が開催される

県養鰻協会ではこのほど、浜松市舞阪文化センターにおいて、養鰻業に関する技術の習得と知識の向上を図り、県内養鰻業者・養鰻漁協の経営維持安定と本県養鰻業の振興に資することを目的に、生産者並びに関係漁協の職員等60名が参加して、平成18年度養鰻研修会を開催しました。

研修会では主催者の杉浦会長(中遠養鰻漁協長)挨拶の後、「県産うなぎの価格形成等について」をテーマに、白石副会長(丸榛吉田うなぎ漁協)、中野企画委員長(焼津養鰻漁協)の進行で討論会が行われ、現在の鰻の相場が愛知県価格に主導されていることなどから、県内の養鰻業者が結束して独自価格の形成を目指し、連携を強めていくなど活発な意見交換が行われました。

引き続き、東京海洋大学大学院助教授舞田正志氏より「養殖ウナギの適正養殖規範」と題して講演が行われ、消費者のトレーサビリティシステムに対する期待や、養殖生産における同システムの問題点などについて詳しく解説されました。

3. てんぷら油など食物由来の廃油を再資源化 BDF燃料に手答えを感じる

南伊豆町大瀬漁港を拠点とする周辺海域において12月7日、てんぷら油など食物由来の廃油を再利用した、軽油代替燃料バイオディーゼル燃料(BDF)を使った、船舶航行実験が行われました。

実験は、ディーゼルエンジンの排煙など海の大気環境対策を進めるのを目的として、同町の山本幸雄氏の所有する「第二秀丸」(6.5t)を使用して、BDF100%を積載し約1時

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

間の航行を行い、運転音や振動、エンジンの回転数・速度といった航行状態を調べました。実験の結果、アイドリング状態ではエンジン音がやや重く、航行中は1500回転で普段と同じ10 の速度が確保され、排出ガスのカーボンも少ない状態で、船舶にも適用できることが確認されました。しかし漁船への普及には、BDFの価格低減と、漁船の使用燃料を賄う生産量、補給用の燃料タンク設備など課題が上げられます。

BDFは排出ガスに有害物質がほとんど出ないなど、地球環境に優しい「エコ燃料」といわれ、同町では、公用車でのPDF使用を始めています。

4. 全国漁業協同組合学校が平成19年度(第68期生)学生を募集中

全国漁業協同組合学校ではこのほど、JFグループを担う若きリーダーを育み、JF合併に資する人材育成のため漁協運営の基本と実務教育を目標に、平成19年度(第2回目)の学生(基礎コース)募集を始めています。

同校は、高校や大学等を卒業し、JFグループ団体への就職を目指す新卒者と漁協や漁連等の在職者が、漁業や漁協に関する理論と実務を学び理解を深めるための、JFグループ全国唯一の教育専門機関です。

入学資格：JFグループの推薦を得て、次のいずれかに該当した者のうち選考に合格した者 1ヶ年以上漁業に従事し、またはJFグループに勤務中の者 高卒(見込者を含む)または、同等以上の学力を有すると認められる者 願書受付期間：平成18年12月1日～平成19年1月19日 応募先：出身地域のJF漁連会長、JF組合長宛 問合せ先：全国漁業協同組合学校 TEL：04-7144-8125

5. 新刊図書紹介 「海藻フコイダンの科学」 山田信夫 著

成山堂書店ではこのほど、「海藻フコイダンの科学」を発売しました。

本書は、第1編「海藻フコイダンとは - 特にその理化学的性状 - 」と、第2編「フコイダンの薬理効果」の編成で、フコイダンの基礎的な理化学的性状のほか、様々な薬理効果・メカニズムを豊富な図表で簡明に解説しています。

フコイダンはコンブやモズクのネバネバ成分のひとつでもあり、現在、がん治療に効果があると期待されています。

著者の山田氏は、元県水産試験場長を経て東海大学の教授として、水産植物学や水産利用学などを専門に研究、開発をしてきました。

価格：3,150円(税込) 問合せ先：成山堂書店 TEL:03-3357-5861

6. 会議・日程(12月19日(火)～1月1日(月))

- 既報分省略 -

12月18日(月) 県漁連 = ふじのくにしずおかフードフェア (東京・時事通信会館)

12月19日(火) 県漁連 = 平成18年度県漁協組合長会議要望事項及び平成19年度

水産予算編成に関する要望事項の県議会水産議員への陳情(静岡市)

12月22日(金) 県桜えび漁業組合 = 役員会 (県水産会館)

12月27日(水) 県漁連 = 平成18年度県漁協組合長会議要望事項及び平成19年度

水産予算編成に関する要望事項の県知事・副知事への陳情 (県庁)

- 訂正 - 本紙 1221(12/5)掲載で、1の項目中の19年度県水産予算編成に対する要望事項の創設は継続の誤りですので、お詫びして訂正します。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう